



学校だより

(10月号) 令和5年9月29日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
 - ・すすんで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》 本をたくさん読もう



親切・やさしさ・思いやりの輪

～ 環境整備、虫さがし、「小さな親切」作文 ～

校長 白石 徳一郎

残暑が長く続きましたが、ようやく過ごしやすい好季節となりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。今月は、様々なご親切に感謝を申し上げますとともに、子供たちの取組についても紹介したいと思います。



9月4日(月)に、地域や保護者の皆様にご協力いただき、正門を入った体育館前や校庭入口付近の植栽、みどりの広場、校庭の雑草などの環境整備を行いました。児童は朝活動の15分間で校庭の雑草抜きをしましたが、保護者や地域の皆様には1時間もご協力いただき、見違えるようにきれいになりました。ありがとうございます。ピオトープ付近までは出来なかったのですが、9月19日(火)の朝には、ピオトープ付近まですっかりきれいに除草され、学校のゴミ捨て場にはたくさんの雑草のゴミ袋が積まれていました。学校施設開放委員会の皆様が環境整備をしてくださったそうです。ありがとうございます。児童が校庭で学習したり遊んだりする時に、校庭の草が刈られていて大変助かっています。



生活科の秋の学習では、どんぐりなどの樹木や、昆虫などの生き物に詳しい地域の方にご協力いただき、樹木や昆虫について教えていただきました。今年の夏はセミの声も少なく、昆虫探しでもバッタが少なかったのですが、複数のバッタを捕まえた児童が友達にあげるなど、思いやりのある姿を見ることができました。捕まえた昆虫の飼育も頑張っています。



夏休みの自由課題に『「小さな親切」作文コンクール』があり、数人の児童が応募しました。耳の不自由な人のためのコンビニエンスストアなどの接客の工夫や、宅配業者の方が困っている時に自分から声をかけてお役に立てた体験などを書いた作文がありました。4年生児童の作文を紹介します。

< 4年生児童の作文より (一部修正) >

「いろいろな親切」

わたしが、どうして「小さな親切」の作文を書く事にしたのかは、学校でわたしが経験した「ありがとう」や、うれしかった事を書きたいと思ったからです。また、「だいじょうぶ?」、わたしはその一言がいたみや悲しみを少しはかいしょうすと思ひ、それも親切なのかと思ひました。

わたしのクラスは、出席番号順に一日ずつ友達をかえて、ほめる事をしてあります。ある日の6時間目のお楽しみ会で、ドッジボールで友達のみねにボールがあたってしまったので、すぐそばに行って「だいじょうぶ?」と言って、近くの平きん台へ行っている話を聞きました。その時「ありがとう。」と言ってくれたのがうれしかったです。さらに、その日のほめる時間に、その事を言うてくれてうれしかったです。

ほかにも、わたしが親切なのかと思ひている事は、かいだんそうじの時に、みんながなかなかやらなかったチリトリを、自分から取ってやっていたら「ありがとう」と言われてうれしかったので、れんぞくで4回やったらどんどん楽しくなっていました。小さな親切が楽しくなることもあるからいいと思ひました。

わたしは、良い事をまねするのもいいと思ひました。朝、1・2・3年生の植木ばちが風でたおれているのを、毎日、6年生が直しているのを見て、私も手伝いました。なんだかいい気持ちになりました。その6年生がいなくても、続けたいと思ひます。これからも常にまわりを見て、ちょっとしたことでも手伝います。

親切は特別なことではなく、身近にある、やさしい気持ちや思いやりの行動なのですね。下級生のお手本となる6年生も素晴らしいし、上級生のよい行いを見習う下級生も素晴らしいと思ひます。

9月14日(木)の昼休みには、異なる年齢のグループでなかよし遊びを行いました。学校生活を通して、親切・やさしさ・思いやりの輪がさらに広がると思ひます。

